

転倒・転落（件数）

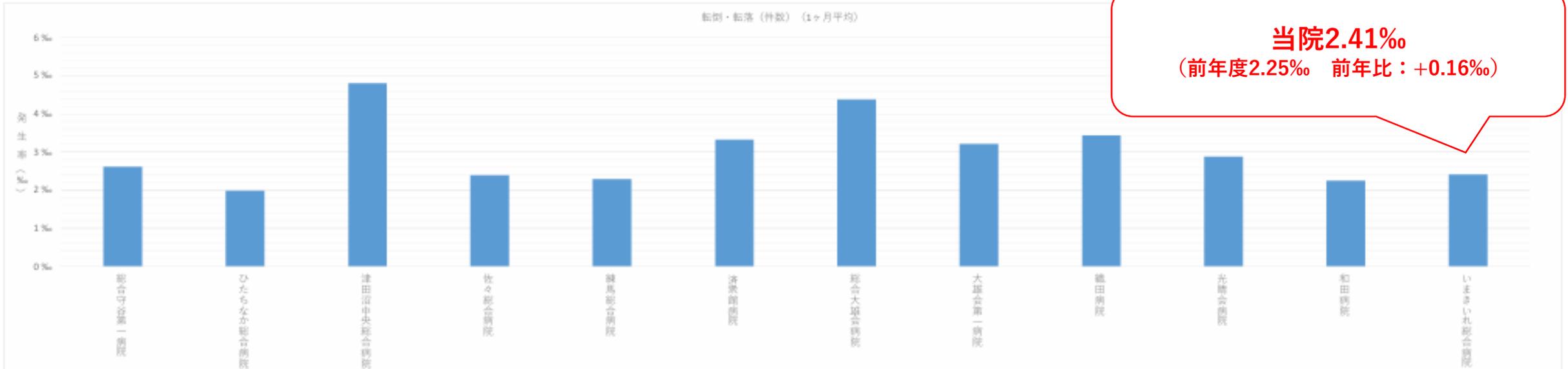
期間中の月別の入院患者延べ数に対するインシデント・アクシデント報告が提出された入院中の転倒・転落件数の割合です。

※参加病院ごとのデータを公開

<計算式>

$$\frac{\text{入院中の患者に発生した転倒・転落件数}}{\text{入院患者延べ数（人日）}} \times 1,000 (\%)$$

全病院の1ヶ月平均割合：3.07%



当院2.41%
(前年度2.25% 前年比：+0.16%)

1000名に対し、約2名の転倒・転落が発生していることを意味しています

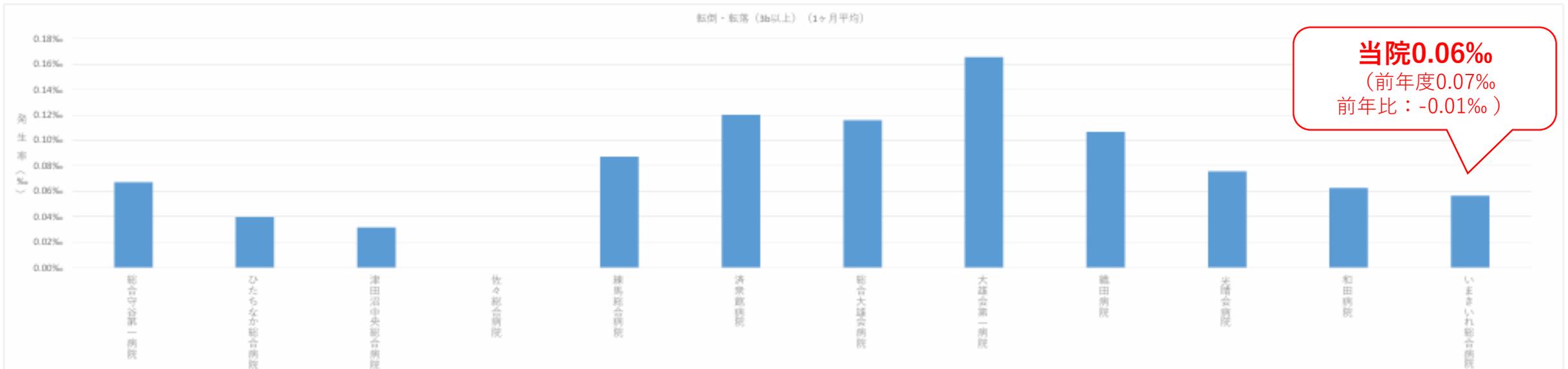
転倒・転落 (3b以上) ※ 3 b以上：手術や大きな処置を必要とするレベル

期間中の月別の入院患者延べ数に対する、インシデント・アクシデント報告が提出された入院中の転倒・転落件数のうち、インシデント影響度分類レベルが3b以上の件数の割合です。

※参加病院ごとのデータを公開

<計算式>	入院中の患者に発生したインシデント影響度分類レベル3b以上の転倒・ 転落件数	×1,000 (%)
	入院患者延べ数 (人日)	

全病院の1ヶ月平均割合：0.07%



2023年度 6件ありました。

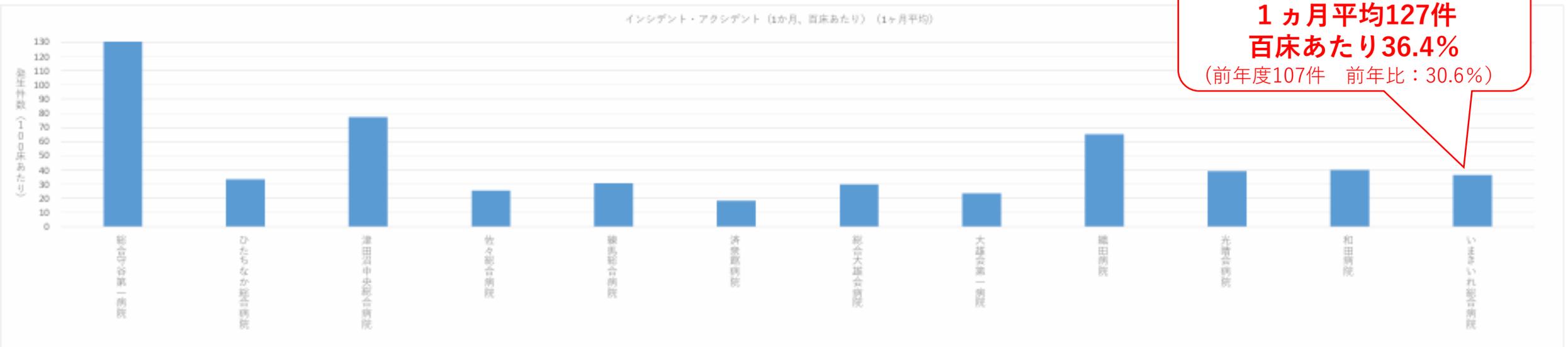
インシデント・アクシデント（1か月、百床あたり）

期間中の許可病床100床あたりの月別インシデント・アクシデント発生の割合です。

※参加病院ごとのデータを公開

<計算式>	調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント発生件数	×100 (%)
	許可病床数	

全病院の1ヶ月平均割合（百床あたり）：45.1%



当院
1ヶ月平均127件
百床あたり36.4%
(前年度107件 前年比：30.6%)

一般的に当院の規模では毎月146件の報告数が望ましいと言われていています。
2023年度と比較し、ひと月あたり20件増加しています。

インシデント・アクシデント（全報告中医師の占める割合）

期間中の月別インシデント・アクシデント報告総件数に対する医師が提出したインシデント・アクシデント報告数の割合です

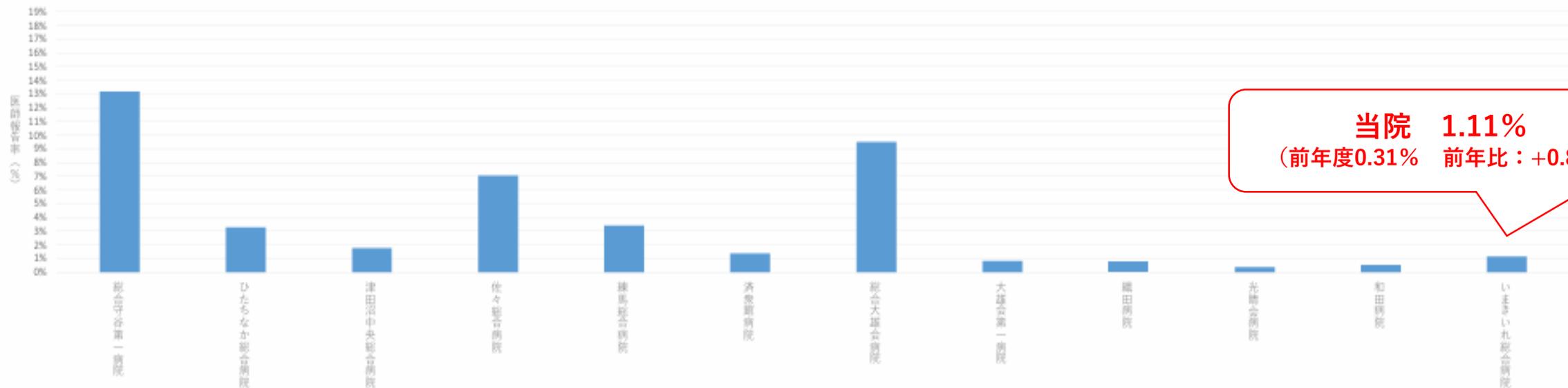
※参加病院ごとのデータを公開

<計算式>

$$\frac{\text{医師が提出したインシデント・アクシデント報告総件数}}{\text{調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント報告総件数}} \times 100 (\%)$$

全病院の1ヶ月平均割合：5.11%

インシデント・アクシデント（全報告中医師の占める割合）（1ヶ月平均）



当院 1.11%
(前年度0.31% 前年比：+0.8%)

一般的に当院の規模では医師からの報告は、毎月14.6件、全体の約4.2%あるのが望ましいと言われています

中心静脈カテーテル挿入時の気胸発生率

期間中に中心静脈カテーテルが挿入された退院症例につき、入院後医原性気胸が発生した症例の割合を集計しています。

<計算式>	入院後医原性気胸が発生した患者数	×100 (%)
	中心静脈カテーテルが挿入された患者数	



手術ありの患者の肺血栓塞栓症（予防対策の実施率）

期間中に肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院症例につき、肺血栓塞栓症の予防対策（弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上）が実施された症例の割合を集計しています。

<計算式>

$$\frac{\text{肺血栓塞栓症の予防対策（弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上）が実施された患者数}}{\text{肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院症例数}} \times 100 (\%)$$

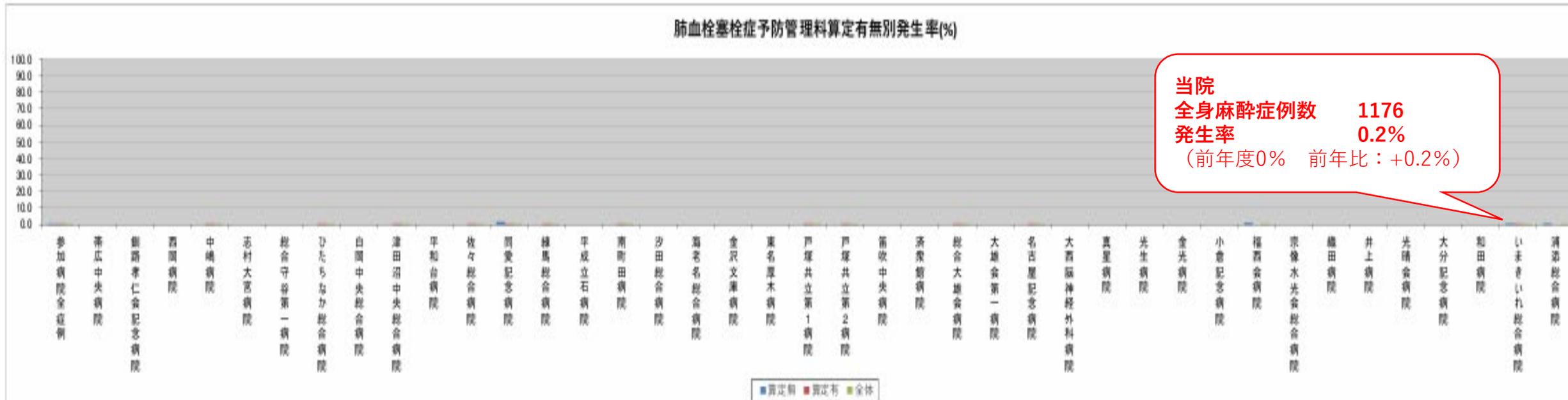
当院
全身麻酔症例数 1,176
予防管理料算定数 1,089
実施率 92.6%
 (前年度95.3% 前年比-2.7%)



手術ありの患者の肺血栓塞栓症（肺血栓塞栓症の発生率）

"期間中に肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院症例につき、肺血栓塞栓症を発症した症例の割合を集計しています。

<計算式>	肺血栓塞栓症を発症した患者数	×100 (%)
	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院症例数	

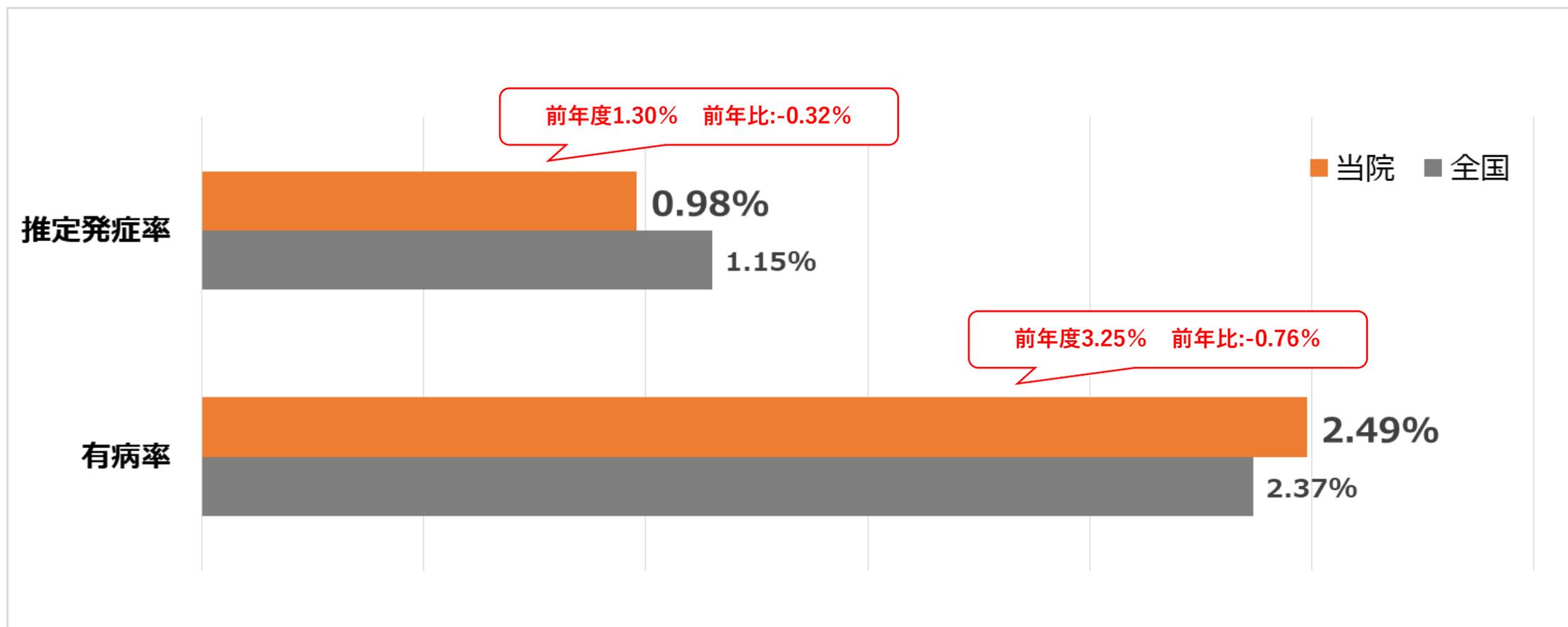


褥瘡 有病率および推定発症率

※褥瘡の深さを問わない

- ・有病率：入院時に褥瘡保有が記録された患者の割合
- ・推定発症率：入院後、新たに褥瘡が発生した患者の割合を示す指標

※全国：2021年褥瘡実態調査の推測調査（5年に1回公表）



職員の予防接種

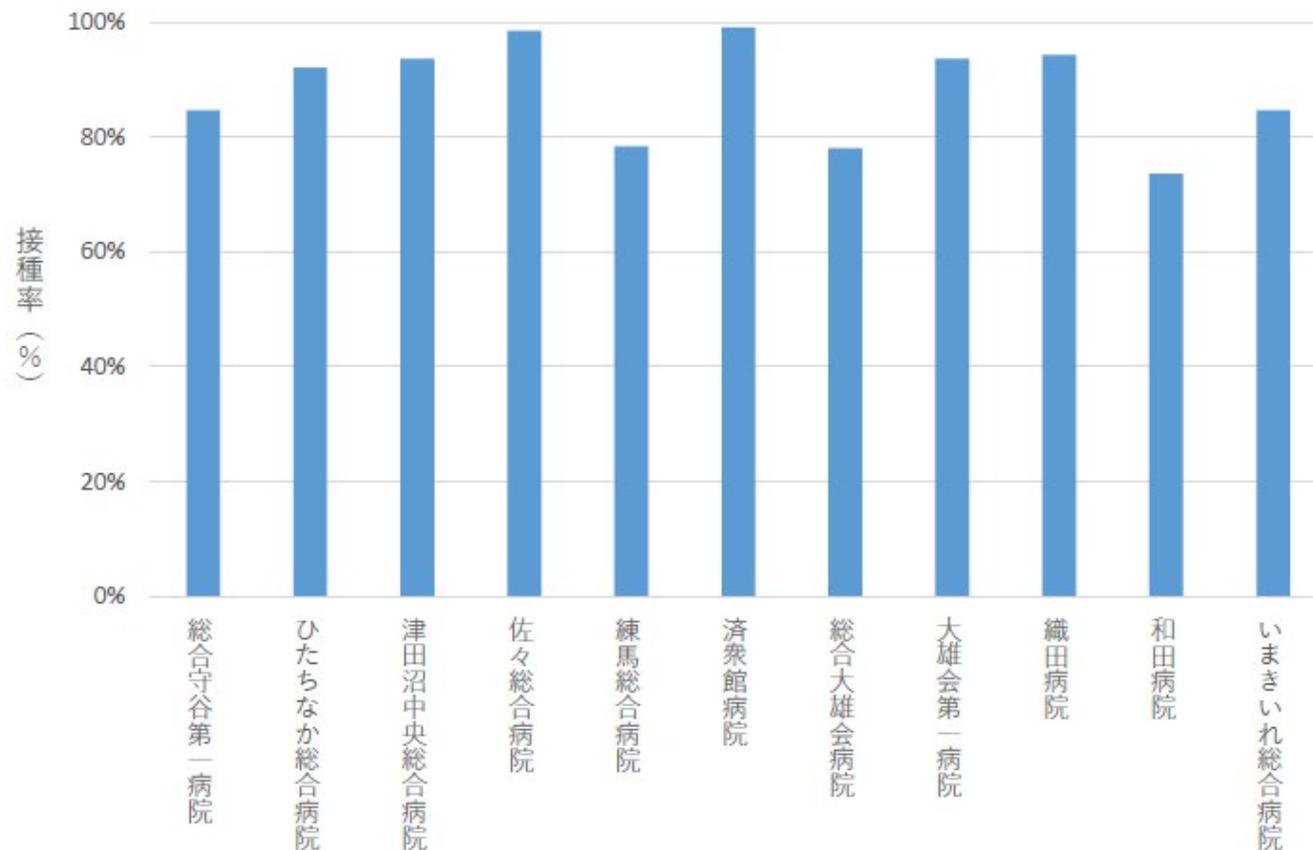
期間中に自施設にてインフルエンザワクチン接種の提供を開始した月の職員数に対する予防接種を受けた職員数の割合です。

<計算式>

$$\frac{\text{インフルエンザワクチンを予防接種した職員数}}{\text{職員数}} \times 100 (\%)$$

全病院の実施割合：88.68%

職員の予防接種



当院
職員数 986名
予防接種実施数 903名
接種率 84.63%
(前年度 86.95% 前年比：-2.32%)

65歳以上の患者における認知症の保有率

期間中に退院した65歳以上の症例に対し、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準を用いた認知症の症例割合を、入院経路別（自宅、施設、他病院など（院内転棟・院内出生除く））に集計しています。

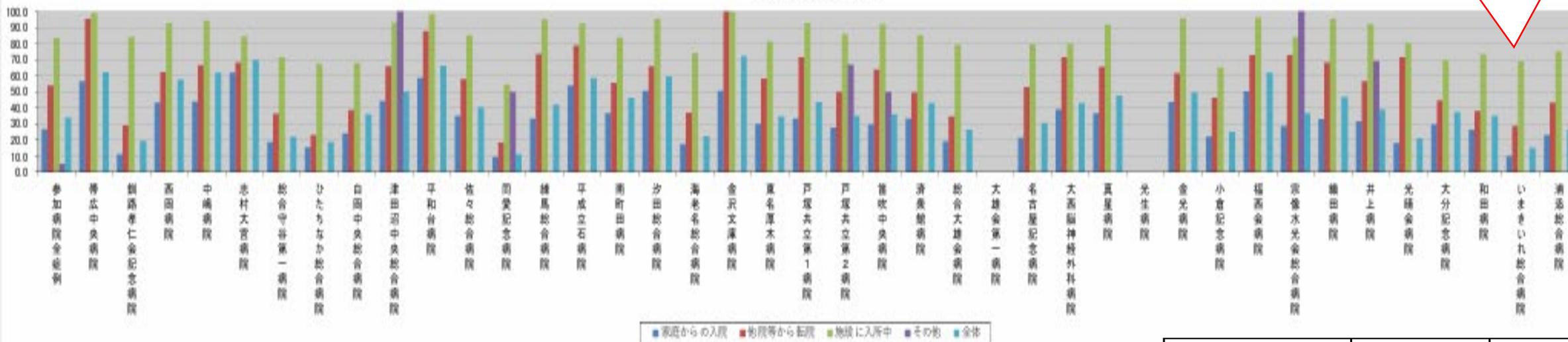
<計算式>

$$\frac{\text{65歳以上で認知症のある患者数}}{\text{65歳以上の退院患者数}} \times 100 (\%)$$

全病院の65歳以上の認知症保有率：33.7%

当院全体
 65歳以上退院患者数 5295名
 うち認知症保有割合 15.1%
 （前年度15.8% 前年比-0.7%）

入院経路別保有率(%)



当院の入院経路別認知症保有率

	退院患者数	保有率
家庭からの入院	4,464	9.9%
他院等から転院	540	28.7%
施設入所中	291	68.7%
その他	0	-
全体	5,295	15.1%